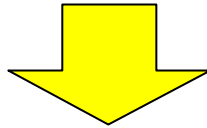


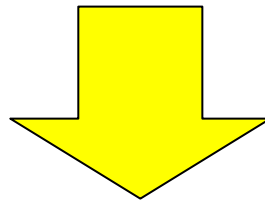
災害教訓の継承に関する専門調査会の設置について

日本は自然災害が発生しやすい国土。

自然災害は、人間の営みに比べると、遥かに長い時間的サイクルで発生。規模の大きな災害ほどそれが発生した場合に、ほとんどの国民はそれを初めて経験。



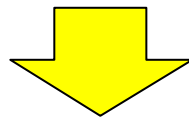
歴史上の被災の経験と国民的な知恵を継承し、それらを共有すべく努力することが、災害対策を進める上での基礎。



災害教訓の継承に関する専門調査会の設置

(調査事項)

- ・ 地震、噴火、津波、水害その他の災害種類別の取りまとめ事項
- ・ 被災の状況、政府の対応、国民生活への影響、特別な貢献をした人物とその内容など



災害教訓を計画的・体系的に整理

(今後の予定)

- ・ 概ね 10 年程度にわたって、1 年に 10 件程度の整理を行い、100 件程度の教訓テキストを整備

義務教育から生涯学習に至るまであらゆる機会を捉えて、テキストを活用し、教訓の継承に資する。